

日本教科内容学会プロジェクト研究 第6回
—各科教科内容構成開発の理論的仮説とシラバスの提案—

日本教科内容学会会長
川並弘純（聖徳大学学長）

本学会プロジェクト研究の目的は、第1に各教科の教科内容の体系性について、第2に全教科を俯瞰した体系性（教科内容学の原理）について究明し、教員養成のための「各科教科内容の体系性」のモデルを提案することです。これまで5回のプロジェクト研究会によって、理論的仮説に基づき教員養成における各科教科内容構成開発の研究を推進し、その成果を学会の全国大会等において発表・報告しました。

プロジェクト研究は、現在3年目となり、開発した各科教科内容構成に即したシラバスを作成している段階です。そこで、第6回のプロジェクト研究会は、各科教科内容構成開発の理論的仮説とシラバス(小学校、中学校、教職大学院)を提案することをねらいとし、下記のプログラムで開催することとしました。(参加希望者は下記メールアドレスに申し込んでください。資料準備します。)

記

日時：平成31年3月21日（木）10:30～16:20

会場：大阪教育大学：天王寺キャンパス西館第1講義室（JR環状線寺田町下車徒歩5分）

内容：(全体司会：小野瀬雅人：聖徳大学教授)

1. 開会 10:30～10:50

開会挨拶：(増井三夫：聖徳大学副学長)

趣旨説明（西園芳信：鳴門教育大学名誉教授）

2. 各科教科内容構成開発の課題と開発の目的と方法 10:50～11:10

西園芳信(鳴門教育大学名誉教授)

3. 各科教科内容構成開発の理論的仮説とシラバス(小学校、中学校、教職大学院)の提案

午前の部：11:10～12:10(質疑含)

(1)数学科：松岡 隆(鳴門教育大学教授)、(2)理科：佐藤勝幸・胸組虎胤(鳴門教育大学教授)

(3)音楽科：中島卓郎(信州大学教育学部教授)

午後の部：13:00～15:20(質疑含)

(4)美術科：新井知生(島根大学教育学部教授)、(5)国語科：村井万里子(鳴門教育大学教授)、

(6)英語科：松宮新吾(追手門学院大学教養学部教授)、(7)社会科：下里俊行(上越教育大学教授)、

(8)技術科：菊地章(鳴門教育大学教授)、(9)家庭科：平田道憲(広島大学名誉教授)、村上

かおり・鈴木明子(広島大学教授)、富永美穂子(広島大学准教授)、(10)体育科：荒木秀夫(徳島

大学名誉教授)、綿引勝美(鳴門教育大学教授)

4. 全教科を俯瞰した体系性(教科内容学の原理)の提案:15:30～15:50

浪川幸彦(椋山女学園大学教授)

5. 全体討議:15:50～16:20

問い合わせ先：日本教科内容学会事務局 jssce.office@gmail.com